

武蔵野東中学校では、海外帰国生は、一般のクラスの中で個々に応じた対応をしています。

① 個々に即した習熟度別の授業

- ・1年生から、英語と数学の2教科は習熟度別の授業。1グループ25人～30人程度の少人数制
- ・習熟の進んだ生徒のための英語・数学の特別コースは、更に少人数の10人程度
- ・3年生は 国語・数学・英語・社会・理科の5教科と論文の習熟度別授業

教科によって得意・不得意がある生徒のためには、習熟度別授業のシステムが対応します。英語は得意だけれども数学は自信がない、という場合には英語は上級クラス、数学は標準クラスからスタートすることができます。

② 英語重点のカリキュラム

- ・週6時間の英語は、コミュニケーションな内容を重視
- ・英語圏からの帰国生はEE（英語特別）コースに所属

英語の特別コースは英語検定2級以上の取得またはTOEICなどの受験にむけた内容で進めています。週6時間（3年生は進学のための学習も加えると8時間）の内容は、実践に即した内容。会話などのコミュニケーション力を重視。英検のための演習などを授業内で行っています。日本で生活してきた生徒でも、中3の時点で65%の生徒が英検準2級（高校中級）以上を取得しています。

③ 高校受験で難関に挑む。校内で万全の進学指導

- ・3年生では放課後の特別進学学習（週3回：各2時間）や小論文の授業など、校内指導だけで万全な進学システム

高校受験に向けては学校をあげてのバックアップ態勢をしいています。授業進度は1年次からやや早めになっており、英語は2年までに、国語と数学は3年の1学期までに3年分を終了し、それ以降は高校受験に備えた学習を行います。校内模試（1年次から）や休暇中の講習（2、3年次）も全員を対象に行っています。3年次には、週3回放課後の時間に全員参加で進学のための学習を実施し、少人数のグループ（10名前後）で入試までの指導を徹底して行います。

④ 一人ひとりを伸ばす学習と、心の教育。行事と部活動が盛ん。

- ・個性を大切に育む、少人数制（30名程度）クラス、生徒と心がふれあう担任・副担任制
- ・独自の『自主学習プランノート』で、自ら計画しやり遂げる力をバックアップ
- ・自閉児と学校生活を通して触れ合う『混合教育』と生命について学び、将来観を育む『生命科』
- ・学習と両立して、生徒が企画し実施する行事。部活動も盛んで、全国レベルの部活も。

思春期の生徒の心をきめ細かく見守り、たくましく育てます。また、学園の教育の特色である『混合教育』は、障害のある友達と過ごす学校生活で、真の思いやりの気持ちを育みます。そして独自の『生命科』の授業は生命の大切さ、地球環境、平和、将来観など、自分を見つめながら考え、人間として大切なものを学ぶ授業です。